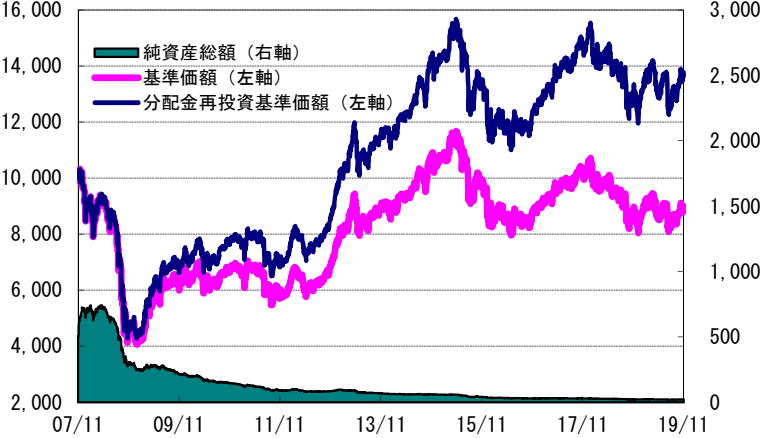


スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)

基準日 2019年11月29日

基準価額および純資産総額の推移



* 当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
* 当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

設定日	2007年11月30日
信託期間	2027年11月10日まで
決算日	毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の各10日(休業日の場合は翌営業日)

基準価額	8,994円
純資産総額	21.19億円

ファンドの資産配分	
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	97.4%
スパークス・マネー・マザーファンド	0.5%
現金等	2.1%

【ご参考】

基準価額変動の要因分解(月次ベース)			
基準価額変動金額			306円
内訳	株式等	アジア太平洋地域	296円
		中東地域	-4円
	為替		39円
	その他		-25円

* 基準価額は信託報酬控除後の値です。信託報酬には、投資対象とする投資信託分を含みます。
* 分配金再投資基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであり、実際の投資家利回りとは異なる点にご留意下さい。

騰落率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
	2.27%	9.46%	6.29%	5.42%	12.12%	37.80%

* 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資し、計算しています。

* 金額は対象期間における基準価額(分配金込み)の変動を表したものです。
* 上記は参考情報として当社が算出した概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。

分配金実績(税引前)

決算期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
	18/1/10	18/3/12	18/5/10	18/7/10	18/9/10	18/11/12	19/1/10	19/3/11	19/5/10	19/7/10	19/9/10	19/11/11
分配金	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円
分配金累計	直近12期計		設定来合計									
	540円		3,270円									

ポートフォリオの配分

国・地域別配分

	国・地域	比率	比率
アジア太平洋	香港	27.1%	94.0%
	オーストラリア	18.5%	
	台湾	15.8%	
	中国	10.9%	
	その他	21.7%	
中東	UAE	1.6%	2.1%
	サウジアラビア	0.5%	
現金等	-	3.9%	3.9%
合計		100.0%	100.0%

通貨別配分

	通貨	比率
1	香港ドル	38.1%
2	豪ドル	19.3%
3	台湾ドル	16.4%
4	韓国ウォン	5.9%
5	インドネシアルピア	4.0%
	その他	16.3%
	合計	100.0%

業種別配分

	業種	比率
1	情報技術	19.2%
2	金融	16.4%
3	生活必需品	13.8%
4	一般消費財	12.9%
5	コミュニケーション	12.6%
	その他	25.1%
	合計	100.0%

* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

* スパークス・アジアの内部データを元に、スパークス・アセット・マネジメントが作成。
* 比率はSPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドを100%とした場合の構成比です。
* P-NOTEやADR等に投資している銘柄の通貨は、現地通貨ベースで算出しています。
P-NOTEとは、株式や株価指数の価格変動に運用成果が連動する債券のことです。
ADRとは、主に米国で取引される、株式を代替する預託証券のことです。

■ 当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■ 当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■ 投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■ 投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■ 当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証するものではありません。■ 当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■ 当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■ 当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■ 当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)

基準日 2019年11月29日

基準価額および純資産総額の推移



* 基準価額は信託報酬控除後の値です。信託報酬には、投資対象とする投資信託分を含みます。
 * 分配金再投資基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであり、実際の投資家利回りとは異なる点にご留意下さい。

騰落率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
	2.11%	8.63%	5.73%	4.84%	11.66%	173.24%

* 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資し、計算しています。

* 当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 * 当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

設定日	2008年11月12日
信託期間	2027年11月10日まで
決算日	毎年11月10日 (休業日の場合は翌営業日)

基準価額	27,324円
純資産総額	0.33億円

ファンドの資産配分	
SPARKX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	91.4%
スパークス・マネー・マザーファンド	0.0%
現金等	8.6%

【ご参考】

基準価額変動の要因分解 (月次ベース)			
基準価額変動金額			564円
内訳	株式等	アジア太平洋地域	587円
		中東地域	-8円
	為替		78円
	その他		-93円

* 金額は対象期間における基準価額の変動を表したものです。
 * 上記は参考情報として当社が算出した概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。

分配金実績(税引前)

決算期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期
	10/11/10	11/11/10	12/11/12	13/11/11	14/11/10	15/11/10	16/11/10	17/11/10	18/11/12	19/11/11
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

分配金累計	直近10期計	設定来合計
	0円	0円

ポートフォリオの配分

国・地域別配分

	国・地域	比率	比率
アジア太平洋	香港	27.1%	94.0%
	オーストラリア	18.5%	
	台湾	15.8%	
	中国	10.9%	
	その他	21.7%	
中東	UAE	1.6%	2.1%
	サウジアラビア	0.5%	
現金等	-	3.9%	3.9%
合計		100.0%	100.0%

通貨別配分

	通貨	比率
1	香港ドル	38.1%
2	豪ドル	19.3%
3	台湾ドル	16.4%
4	韓国ウォン	5.9%
5	インドネシアルピア	4.0%
	その他	16.3%
	合計	100.0%

業種別配分

	業種	比率
1	情報技術	19.2%
2	金融	16.4%
3	生活必需品	13.8%
4	一般消費財	12.9%
5	コミュニケーション	12.6%
	その他	25.1%
	合計	100.0%

* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

* スパークス・アジアの内部データを元に、スパークス・アセット・マネジメントが作成。
 * 比率はSPARKX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドを100%とした場合の構成比です。
 * P-NOTEやADR等に投資している銘柄の通貨は、現地通貨ベースで算出しています。
 P-NOTEとは、株式や株価指数の価格変動に運用成果が連動する債券のことです。
 ADRとは、主に米国で取引される、株式を代替する預託証券のことです。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型)

基準日 2019年11月29日

組入上位銘柄

組入銘柄数	44
-------	----

NO	銘柄名	Pnote	国名	業種	組入比率	配当利回り
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd		台湾	情報技術	7.3%	3.2%
2	AIA Group Ltd		香港	金融	6.7%	1.7%
3	CSL Ltd		オーストラリア	ヘルスケア	5.9%	1.1%
4	Tencent Holdings Ltd		中国	コミュニケーション	5.6%	0.3%
5	Transurban Group		オーストラリア	資本財	5.4%	4.1%
6	MediaTek Inc		台湾	情報技術	4.8%	2.3%
7	Guangdong Investment Ltd		香港	公益事業	4.2%	3.5%
8	Aristocrat Leisure Ltd		オーストラリア	一般消費財	3.3%	2.0%
9	Samsung Electronics Co Ltd		韓国	情報技術	3.2%	2.8%
10	President Chain Store Corporation		台湾	生活必需品	3.0%	2.9%

* 上記の銘柄の中には現株を含みます。
 * 個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
 * 上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

* 比率はSPARKX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドを100%とした場合の構成比です。
 * 配当利回りは12ヶ月配当利回り(税引前)です。
 * 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

地域別組入上位銘柄の概要

アジア・太平洋地域

No	銘柄名	Pnote	国・地域	銘柄概要
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd		台湾	台湾積体回路製造 [TSMC/台湾セミコンダクター] (Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Ltd.) は半導体メーカー。ウエハー製造、プロービング、組み立て、テストのほか、マスクの製造、設計、関連サービスを提供。同社の IC (集積回路) はコンピュータ、通信、消費者向け電子製品、自動車、産業機器などに使用される。
2	AIA Group Ltd		香港	友邦保険控股 [AIAグループ] (AIA Group Ltd.) は生命保険および金融サービス会社。個人・企業向け生命保険、傷害疾病保険、年金プランならびに健康管理サービスを提供。
3	CSL Ltd		オーストラリア	シー・エス・エル (CSL Ltd.) は医薬品メーカー。ヒト血漿由来のヒトおよび動物用の医薬品、診断薬を開発、製造、販売。主な製品は小児用・成人用ワクチン、感染症予防薬、鎮痛剤、皮膚疾患治療薬、解毒剤、抗凝血剤、免疫グロブリンなど。
4	Tencent Holdings Ltd		中国	騰訊 [Tencent Holdings Limited] (Tencent Holdings Limited) は投資持株会社。中国、米国、欧州などのユーザーにインターネットおよびモバイル付加価値サービス (VAS)、オンライン広告サービス、電子商取引サービスを提供する。
5	Transurban Group		オーストラリア	トランスアーバン・グループ (Transurban Group) は道路建設会社。Melbourne City Linkと有料道路 Hills Motorway M2 を運営する。料金システムの電子化と設置も手掛ける。

中東地域

No	銘柄名	Pnote	国・地域	銘柄概要
1	First Abu Dhabi Bank PJSC		UAE	ファースト・アブダビ・バンク (First Abu Dhabi Bank PJSC) は銀行。預金、個人向けローン、e-バンキング、貿易金融、外貨取引、その他の銀行サービスを手掛ける。世界各地で事業を展開。
2	Saudi British Bank/The		サウジアラビア	サウジ・ブリティッシュ・バンク (Saudi British Bank) は、預金業務、リテールおよびコマーシャル・バンキング・サービスを提供。消費者・シンジケートローン、仕組み債、プロジェクト金融、証券仲介、ファイナンシャル・プランニング、プライベート・バンキング、ミューチュアルファンド、ファクタリング、財務サービスなどを手掛ける。

* 上記は個別銘柄の取引を推奨するものではありません。
 * 上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。
 * 出所: 各社ホームページ

* 上記はSPARKX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドの組入上位銘柄です。
 * ADRとは主に米国で取引される、株式を代替する預託証券のことであり、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合があります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型)

基準日 2019年11月29日

コメント

■市場環境

《アジア株式》

当月、アジア株式はまちまちの値動きでした。

世界の株式市場の多くは、米中貿易協議の進展に対する期待が高まったこと、企業の四半期決算内容が予想以上に好調だったことから、上昇して月を終えました。

中国では、好調な決算を発表したインターネット関連や電子商取引関連が堅調に推移しました。中国のヘルスケアセクターは、政府が新たな薬価政策を発表したことから、不安定な値動きを示しました。

台湾では当月もテクノロジーセクター、とりわけ半導体関連企業とApple社（米国）のサプライチェーンに属する企業が堅調なパフォーマンスを見せました。2020年の5G(第五世代移動通信システム)スマートフォンの出荷台数見通しが良好で、当該企業の業績に対する期待が高まったためです。

ASEAN諸国の株式市場は、サプライチェーンが同地域にシフトすることで恩恵を受けるという期待があったにもかかわらず、国内経済の成長鈍化に注目が集まったため、当月は比較的軟調に推移しました。

インドでは、2019年度第2四半期（7～9月）の実質GDP成長率推計値が前年同期比4.5%と、2012年度第4四半期（2013年1～3月）の4.3%以来約6年半ぶりの低水準となりました。しかし政府が景気刺激策を実施して株価を下支えするという予想が投資家の間に流れたことから、株式市場は比較的底堅く推移しました。

《中東株式》

当月、中東株式市場のパフォーマンスは、まちまちでした。

サウジアラビアでは国営石油会社Saudi Aramco社のIPO（新規株式公開）が進行中で、12月にサウジアラビア証券取引所に上場予定です。銀行セクターでは引き続きM&A（買収・合併）の動きがあり、Dubai Islamic Bank (UAE) が、Noor Bank (UAE) の買収を発表しました。

《通貨》

当月、アジア地域の通貨の多くは、オーストラリアドルを除き、対日本円で上昇しました。特に、香港ドル、中国人民元、タイバーツが、対日本円で上昇しました。

■運用状況

《アジア株式》

当月、当ファンドが保有する株式のリターンは、プラスとなりました。

情報技術セクター、ヘルスケアセクター、金融セクターなどがプラスに貢献し、一方で、資本財セクター、不動産セクター、コミュニケーションサービスセクターなどがマイナスに影響しました。

国別では、オーストラリア、台湾、インドなどがプラスに貢献しました。一方で、香港、インドネシアなどがマイナスに影響しました。

個別銘柄では、CSL Ltd.（オーストラリア/ヘルスケア）、Tencent Holdings（中国/コミュニケーション）、Indiabulls Housing Finance（インド/金融）などが、プラスに貢献しました。一方で、China State Constructions International Holdings（香港/資本財）、Guangdong Investment（香港/公益事業）、Advanced Info Services（タイ/コミュニケーション）などが、マイナスに影響しました。

香港では数カ月にわたって抗議活動が続き、地元経済に深刻な影響を与えています。観光客の急減によって、ホテル、レストラン、航空、小売といった観光関連企業が打撃を被りました。香港固有の現象ですが、中国本土からの旅行者の急減により、生命保険会社も影響を受けています。当ファンドの組入上位銘柄であるAIA Group（香港/金融）によると、同社香港事業の約50%は「中国本土からの旅行者による保険料収入」で成り立っているそうです。

そこで当ファンドは同社経営陣と面会し、香港事業と中国事業に関して「対話」を行いました。それによると、中国本土からの旅行者の減少は一時的なもので、海外事業は依然として底堅いというのが同社経営陣の考えでした。主なマイナス影響は新契約の売上減少によるもので、契約更新に対する影響は最小限に留まっているということです。

(次ページへ)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的に問わず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型)

基準日 2019年11月29日

コメント

(前ページより)

一方で、香港特別行政区内の居住者への保険販売は、(1)据置年金に対する政府の新たな税制優遇措置、(2)販売代理店の人員再配置による香港特別行政区内の顧客への販売強化、(3)販促活動、などが追い風となり好調に推移しています。当ファンドは「仕事の減少による保険販売員の定着率低下」を懸念していましたが、同社経営陣によると、保険販売員の多くがこれまでに販売した保険手数料を継続的に受け取っているため、抗議活動がさらに長期化しない限り、大量廃業はないだろうということです。それどころか、保険代理店の幹部が採用にかけられる時間が増えたことで、保険販売員の数は過去数か月で増加しています。

私どもは、同社にとって香港情勢の緊迫化は「一時的な問題」であると考えています。その一方で、中国本土事業は好調に推移しています。同社は今年8月、5地域（広東省、江蘇省、北京、上海、深圳）に加え、新たに2都市（天津と石家荘）で事業を開始しましたが、中国本土で強力なブランド力を持っていることから、手応えは上々でした。同社保険商品の中国本土における普及率はまだ低いため、成長余地はまだあると、当ファンドは考えています。新CEO（最高経営責任者）の李源祥氏はPing An Life Insurance社（中国）やアジア地域の他の生命保険会社で長年にわたる実績を有しており、同社中国事業の発展に寄与し、中国本土事業は同社最大の事業区域である香港を数年以内に追い抜くと、私どもは考えています。

当ファンドは、引き続き既存の投資先を注視し、また今後の投資先候補の企業に関する調査も継続することで、優れたビジネスモデル、良好なバランスシート、持続的な成長の見通しを備えた「優良企業」を選別していきます。

《中東株式》

Saudi British Bank（サウジアラビア/金融）とFirst Abu Dhabi（UAE/金融）が、国内経済の軟化懸念にもかかわらず、堅調に推移しました。

《通貨》

当月、アジア地域および中東地域の通貨は、対日本円で上昇し、当ファンドのパフォーマンスにプラスに貢献しました。

■今後の見通し

《アジア株式》

米中貿易摩擦は、引き続き世界経済の成長の足枷となっています。年初来の堅調な市場動向にもかかわらず、世界経済には景気後退の兆しが見え、政策担当者は財政金融両面で緩和措置の実施を迫られています。香港の抗議活動、英国のEU離脱、台湾の総統選挙、米国の大統領選挙などの「政治的リスク」も低下の兆しは見えません。

ただし、こうした不安材料はあっても、私どもはテクノロジーサイクルが上向き、消費の増加が続くと見込んでいます。5G関連投資が加速しており、2020年の5Gスマートフォンの予想出荷台数が上方修正されました。5GテクノロジーのIoTデバイスへの応用も加速するでしょう。設備投資によって技術開発が進み、産業機器セクター、半導体セクター、メモリセクターなどの企業が恩恵を受けるでしょう。また、「より質の高い製品へのプレミアム化・アップグレードの需要」は、「新しい革新的製品開発に投資して顧客のニーズに応える企業」にとって追い風となることでしょう。

短期的には変動がありますが、アジア経済の長期的な興隆とアジア企業の地位向上という長期的な投資テーマは健在であると、私どもは考えます。引き続き「新興国市場で優良企業となる可能性を持った企業」を発掘してまいります。

《中東株式》

原油市場の価格変動が激しく、地政学的リスクがあることから、当ファンドは中東の株式市場を慎重に見ていますが、政府は経済成長と財政均衡のバランスを模索すると予想しています。サウジアラビアの国有石油会社Saudi Aramco社のIPO（新規株式公開）は、株式市場の新たな注目の的となる可能性があります。銀行セクターの再編は、引き続き中東地域の株式市場の主な投資テーマの一つになるでしょう。当ファンドは、金融セクターの保有銘柄を引き続きポジティブに見ています。

《通貨》

通貨は、短期的には資本フローの影響によって大きく変動すると思われませんが、長期的観点で見ると、アジア地域および中東地域の経済のファンダメンタルズに力強さが見られることから、両地域の通貨は対日本円で上昇すると、私どもは考えます。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。